

(一社) 全麵協首都圏支部令和7年度第6回定時総会議事録

1 日時 令和7年5月31日(土) 13時30分～15時20分

2 場所 麵業会館2階 大会議室

3 総会における議案審議の概要、主な発言要旨、結果等

(1) 開会、支部長挨拶、来賓挨拶

土屋照雄(一社)全麵協首都圏支部副支部長兼事務局長の司会で、全麵協首都圏支部の第6回定時総会を開会した。

土屋事務局長は、初めに腰原弘敏全麵協首都圏支部長に挨拶を求めた。

① 腰原弘敏全麵協首都圏支部長挨拶(要旨)

首都圏支部が発足して6年目に入りました。

令和6年度の各種事業は、関係の皆様のご協力により全て恙無く終了できました。改めて感謝申し上げます。

先週開催された「第5回一般公開そば大学 in 平塚」は、皆様のご協力で盛会裏に終了できましたことを、お礼申し上げます。

首都圏支部では、そばを幅広く深く学び実践することを目指す「そばを極める総合講座」を昨年からは開始し、9月には2回目を埼玉県で開催しますので、皆様の参加をお願いします。

首都圏支部でも、他の支部と同様、高齢化等で一般会員が減りつつあり、初段位の受験者が減ってきている状況への対応が課題となっています。

これらに適切に対応していけるよう、首都圏支部としては、楽しくそば打ちに取り組めるような明るく楽しい開かれた全麵協、首都圏支部を創り上げていくために、各種事業や支部の運営に様々な工夫や努力をしていきますので、引き続き皆様のご協力をお願いします。

続いて、土屋事務局長は、来賓として出席の(一社)全麵協本部の横田節子副理事長に挨拶を求めた。

② 横田節子全麵協副理事長挨拶(要旨)

この程、理事1名の退任がありました。

「第5回一般公開そば大学 in 平塚」の開催では、首都圏支部の皆様に大変お世話になりました。お礼を申し上げます。

会員の高齢化等の影響で初段位の受験者が減ってきていることなど、懸念されますが、これらに対応するためには、そばを楽しく打てるような環境を作っていくが大切と考えています。

首都圏支部のますますの発展を祈念し、引き続き首都圏支部の皆様のご協力をお願い致します。

(2) 総会における議案審議の概要、主な発言要旨、結果

土屋事務局長が、総会の議長は全麵協首都圏支部規約第14条の規定により、総会に出席している正会員の中から選出することになっていることを説明し、出席者に立候補する者はいないか尋ねた。

出席者の中からは立候補者がいなかったため、事務局から指名することで出席者の了解を得、手打ちそばサークル悠遊の石田任亭氏を議長に選出して、議事に入った。

石田議長

総会への出席者数はどのようになっているのか、報告願います。

土屋事務局長

出席会員は29名、議長への委任状を提出された会員は11名、合計40名で、首都圏支部全体の会員数41名のところ40名が出席していることとなります。議決に必要な会員数は21名ですので、半数を超えています。

石田議長

報告のように、出席者数は議決に必要な数を超えていますので、本日の総会は有効に成立したことを宣言します。

支部規約第15条の規定による総会の議事録を作成するために、議事録署名人が必要となりますが、議長から指名してもよろしいでしょうか。

(賛同の拍手あり)

それでは、議事録署名人を樽見二三男様と鈴木一夫様にお願いします。

石田議長

議事に入ります。

最初に、報告第1号の令和6年度首都圏支部事業報告と報告第2号の令和6年度首都圏支部決算報告は、密接に関連しますので、一括して議題にしたいと考えますが、それでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、執行部から報告第1号と報告第2号の説明をお願いします。

土屋事務局長

総会資料の2～3Pに令和6年度の首都圏支部の月別事業報告を載せていますので、ご覧いただきます。

令和6年度は、新規に「そばを究める総合講座」を設け、第1回を東京で開催し、大勢の参加者があり、無事終了することができました。

支部主催の各種事業は、ほぼ計画通り順調に実施することができました。これも、全ての会員団体の皆様のご協力のお陰と、感謝申し上げます。

支部主催の実施事業については、各役員から報告します。

鈴木光雄副支部長

5月18日(土)、19日(日)に埼玉県吉見町の「フレサよしみ」で開催した全麵協そば道初段位・二段位・三段位認定会の埼玉大会の結果について、総会資料の5～6Pに基づき報告した。

初段位2組、二段位1組、三段位2組で実施しましたが、三段位の合格率は低い結果となりました。

仲山徹幹事

9月14日（土）に東京浅草の食品衛生センターで開催した第1回「そばを究める総合講座」について、総会資料の7Pに基づき報告した。

第1回は、東京での開催でもあり、鶴飼良平先生による江戸蕎麦の発展に関する講演と江戸流手打ちそばの実演と解説、井上直人信州大学名誉教授による蕎麦の歴史と文化の講演を入れて、盛況でした。

今後も、そばを幅広く、深く学び、実践し、成果を上げられるよう、内容に工夫をしていきたいと考えています。

鈴木光雄副支部長

10月20日（日）に埼玉県鴻巣市「クレアこうのす」で開催した全麵協そば道四段位認定会の開催結果について、総会資料の8P～12Pに基づき報告した。

44名の受験があり、24名が合格、合格率は54.5%でした。

田仲悦朗幹事

10月26日（土）に千葉県成田市の成田国際文化会館で開催した全麵協そば道三段位千葉認定会の結果について、総会資料の13Pに基づき報告した。

27名の受験者があり、19名が合格、合格率は70.3%でした。

田中博文幹事

12月15日（日）に東京都板橋区の清水地域センターで開催した全麵協そば道三段位認定会の開催結果について、総会資料の14P～15Pに基づき報告した。

そば打ちの練習不足の受験者が多く見られ、受験者15名中合格者は2名とかなり少ない状況でした。

空き時間に行ったデモ打ちは、好評でした。

星崎輝夫幹事

1月25日（土）に埼玉県伊奈町の埼玉民活動総合センターで開催した指導員技術講習会の結果について、総会資料の16Pに基づき報告した。

93名が受講し、グループに分かれての実演と指導、意見交換を行い、指導技術の向上を図りました。

仲山徹幹事

2月9日（日）に東京都台東区民会館で開催した地方審査員審査技術研修会の結果について、総会資料の17Pに基づき報告した。

地方審査員任用者と更新者73名が受講しました。

同じ目線で統一した審査ができるようにするために、受講者の疑問に答える形の研修を行い、審査方法や点数の付け方について共通認識を深めることができました。

星崎輝夫幹事

2月16日（日）に埼玉県伊奈町の埼玉県民活動総合センターで開催した

指導員三級任用講習会及び更新講習会の結果について、総会資料の18Pに基づき報告した。

指導員三級の95名が受講し、名人のそば打ちビデオを工程ごとにストップして、技術の問題を質疑応答方式で学びました。

そば打ちが楽しくなるよう、指導方法に工夫することが強調されました。

掛札久美子幹事

3月7日（金）に常陸太田市の交流センターふじで開催した全麵協そば道三段位茨城認定会の結果について、総会資料の19Pに基づき報告した。

18名の受験者があり、合格者は7名でした。

そば打ちの練習に取り組む努力の差が合格率に表れていたようです。

吉川甲次事務局次長

令和6年度の首都圏支部の収支決算について、総会資料の20Pに基づき報告した。

指導員三級任用講習会関係費が収入支出とも大幅増になっているのは、更新者が増加したためで、他は昨年度とほぼ同様な数値となっています。

当期収入合計は5,997,236円、前期繰越額1,023,613円と合わせて収入の合計は7,020,849円でした。

当期支出合計は6,230,201円、当期収支差額は△232,965円、次期繰越収支差額は790,648円、支出合計は7,020,849円となりました。

樋口悦子監事

総会資料の21Pに基づき、令和6年度の監査の結果を報告した。

4月18日に腰原首都圏支部長から提出された収支報告書、諸帳簿、領収書等関係書類等を監査したところ、全て適正に執行されているものと認めました。

横山忠弘監事

業務についての監査をしましたので、結果を申し上げます。

事業について監査した結果、各事業は計画に従い確実に執行されたと認めました。

そばを究める総合講座は、良く対応していると認めました。

東京の三段位認定会の結果合格率が低かったことについては、原因を探り、今後どう対応していくべきなのか考える必要があると思います。

石田議長

ただ今、報告第1号と報告第2号について説明があり、監査報告を受けました。

ご質問、ご意見等がありましたら、所属、氏名を述べてからお願いします。
(質問、意見等無し)

石田議長

特に無いようですので、採決します。

報告第1号について、原案の通り承認することよろしいでしょうか。

(賛成の拍手)

石田議長

報告第1号令和6年度首都圏支部事業報告は、原案通り承認されました。
報告第2号について、原案の通り承認することによってよろしいでしょうか。

(賛成の拍手)

報告第2号の令和6年度首都圏支部収支決算報告は、原案の通り承認されました。

石田議長

続いて、議案第1号令和7年度首都圏支部事業計画(案)を議題とします。
議案の説明をお願いします。

土屋副支部長

令和7年度の首都圏支部の月別事業計画について、総会資料の22～23Pに基づき説明した。

6月の埼玉の初・二・三段位認定会は、7日(土)のみになりました。

11月の東京の三段位認定会は、16日(日)に変更になりました。

そばを幅広く、深く学び、実践していくための「そばを究める総合講座」の第2回を9月6日(土)に開催しますので、大勢の皆さんの参加をお願いします。

石田議長

ご質問、ご意見、ご提案等がありましたらお願いします。

馬場兼雄みつわ手打ちそばの会代表

東京の三段位認定会の合格率が低かったことは、どのように分析していますか。

腰原敏弘支部長

不合格となった受験者は、どう見ても三段位のレベルには達していないと思いました。

三段位は、二八蕎麦の卒業試験ともいうべきものですが、不合格者は三段としての練習ができていなかったように感じました。

各クラブでの練習をしっかりとやるように、三級指導員もチェックして適切な指導をお願いします。

仲山徹幹事

指導員技術講習会は、受講者のランクアップにつながる適切な指導ができるように、三級指導員(四段位)のレベルを引き上げていく必要があります。

五段位の者には、粗礪きの実演指導をやっていきたいと考えています。

馬場兼雄みつわ手打ちそばの会代表

千葉の個人戦、交流戦を見ていると、四段位と五段位の差がありました。

四段位の者は、きちんとできていないように見えます。

五段位の人達によく聞けるような場を創ることが必要と思います。

中村悟千葉県そば推進協議会事務局

初段位・二段位の受験者が少ないので、何人受験して何人合格したのか、情報を共有して活用する必要があると思います。

(該当する所のそれぞれの数値を表明した)

山口江戸流手打ちそば鶴の会

東京の三段位認定会は、急に決まったので、受験者が少なかったと思う。
必ずやっている大会は、特に問題無く受験者が準備して対応していますが、
今回はイレギュラーの大会だったと感じています。

早めに本部へ段位認定会開催の申請をする必要があると考えています。

谷昇平江戸流手打ちそば鶴の会

最初に合格率ありきは問題であり、段位認定会は、公平に審査することが
大事です。

段位に相応しくない者を安易に合格させると、本人にも周囲にも悪影響が
出ます。

全麵協の段位認定制度の信頼性を高めていく上からも、誰もが認める公平
性、公正性を確保していくことが必要です。

仲山徹幹事

皆にそば打ちを誘って受験者を増やしていくことが必要となっています。
初めての人には、そば打ちが楽しくなるように優しく指導して、またそば
打ちをやってみようという気にさせていくことが必要です。

中には、最初から段位認定会の時のような基準を満たしていないとだめだ
と押し付ける人がいますが、こうした対応は望ましくないと思います。

いばらき蕎麦の会では、高校生が段位認定会を受けやすくするために、会
から受験料を補助しています。

石田議長

その他、質問、意見等がありましたらお願いします。

(質問、意見等無し)

石田議長

特に無いようですので、採決します。

議案第1号について、原案の通り決定することよろしいでしょうか。

(賛成の拍手)

石田議長

議案第1号の令和7年度全麵協首都圏支部事業計画(案)は、原案の通り
決定されました。(案)を取っておいて下さい。

続いて、議案第2号令和7年度全麵協首都圏支部予算計画(案)を議題と
します。

議案の説明をお願いします。

吉川事務局次長

令和7年度の首都圏支部の予算計画(案)について、総会資料の24Pに
基づき説明した。

会員団体は42団体となっていますが、1団体退会があり、現在は41団
体となっています。

会費の値上げは難しいので、受益者負担を考えなくてはならない状況にあ
ります。

今年度は、収入の増、他の事業との負担の公平性を考慮して、三級任用講習会の受講料を3,000円から4,000円に値上げした案になっています。

管理費は、可能な限り節減に努めていきます。

当期収入計は4,950,000円、前期繰越収支差額790,648円を加えて収入合計は5,740,648円となります。

当期支出合計は4,875,000円、当期収支差額は75,000円、次期繰越収支差額は865,648円、支出合計は5,740,648円となります。

石田議長

ご質問、ご意見、ご提案等がありましたらお願いします。

(質問、意見等無し)

特に無いようですので、採決致します。

議案第2号について、原案の通り決定することよろしいでしょうか。

(賛同の拍手)

石田議長

議案第2号の令和7年度全麵協首都圏支部予算計画(案)は、原案の通り決定されました。(案)を取っておいて下さい。

石田議長

議案第3号その他に移ります。議案の説明をお願いします。

土屋事務局長

特に用意したものはありません。

石田議長

それでは、予定された議案の審議がすべて完了したので、議長の職を解かせていただきます。

(予定した議事については、15時20分に終了)

土屋副支部長

石田議長ありがとうございました。

折角の機会ですので、会員の皆様と自由な意見交換をしたいと思います。

ご意見、ご要望等何でも結構ですので、お出してください。

畑貞則蕎麦喰地蔵尊蕎麦打ち会代表

首都圏支部の会員の加入の状況は、どうなっていますか。

土屋副支部長

新規加入もあり、退会もあり、少し減っています。

畑貞則蕎麦喰地蔵尊蕎麦打ち会代表

初段の受験者が減ってきているので、新規加入者を確保していかないとジリ貧になってしまうと思います。

横田節子副理事長

首都圏支部は、個人会員は多く、全体としてはあまり減っていない状況にあります。

西日本支部は、団体数は多いが、個人会員は少ない状況です。

女性の会は、退会もあるので、会費とか悩みを本部でも聞いてやれればと考えています。

楽しいそば打ちができるようにしていくことが大切で、そば打ちは良いよねと言われるように、工夫していくことが求められています。

そば談義とかは、シニア対策にもなると思います。

土屋副支部長

会員の減少の要因には、定年が伸びたことで、そば打ちをやろうというような時間が無くなっているといった状況もあります。

本部のイベントが多く、金もかかり、個人負担が大きいことから、年金生活者には経済的な負担が大変な状況にあります。

イベントよりは基盤整備が大切と考えています。

横山忠弘蕎麦の会藤

今回退会した2団体に係わっています。

1団体は、会長が高齢で退会し、後任の会長が全麵協に加入するメリットにこだわった結果です。

洋子蕎麦打ち倶楽部は、女性をメインにして発足し、パーティーを主体にやっているのですが、どう楽しませるかがメインで、そばネットジャパンに加入するようです。

中村悟千葉県そば推進協議会事務局担当

全麵協の非会員へのアプローチは、どうすべきと考えていますか。

横田節子副理事長

全体はよく把握していないので、首都圏支部と連携してチラシ等を作成して、広報活動を展開すべきと考えています。

本部と支部が連携して、適切に取り組むべき課題と思います。

腰原弘敏支部長

団体の調査が必要と思います。

商売でやっているそば教室もあります。

畑貞則蕎麦喰地蔵尊蕎麦打ち会代表

全麵協の会員として引き留めていく方法は、何かありますか。

横田節子副理事長

段位認定を受けなくとも全麵協の会員でいたくなるような魅力づくりが必要と考えています。

かつて、シニア戦を企画したことがあり、反対があつてできなかったが、シニアが活躍できるようなことを計画することが必要と思う。

土屋副支部長

その他何かありますか。

特に無いようですので、ここで、閉会の言葉を申し上げます。

野副支部長

様々な貴重な意見を聞くことができましてありがとうございました。

ただ今、令和7年度の首都圏支部の事業計画と予算が決定しましたので、事業の成果をできるだけ大きくするように、適切な執行に努めて参ります。

そのためには、支部関係者と各会員間、本部との連携が必要となります。
支部や各会員の事業の成果を大きくし、全麵協としての魅力をも高めていくためには、関係者の知恵と力を結集していくことが大切であり、口も出し、汗もかくという積極的な対応が必要です。
引き続き皆様のご支援とご協力をお願いして、閉会とします。

以上で、本日の総会は閉会となった。

議事録署名人

樽見三男



議事録署名人

鈴木一夫

